

世界貿易投資動向シリーズ

ス イ ス

2020年11月26日

海外調査部・ジュネーブ事務所

2019年のスイスの貿易は、輸出入ともに過去最高額を記録した。輸出入双方で最大貿易品目である化学・医薬品が伸びた。対内直接投資は183億8,300万ドルの引き揚げ超過、対外直接投資は146億3,600万ドルとなった。対日貿易は輸出が前年比5.7%増の80億8,000万CHF、輸入が1.1%減の33億5,600万CHFとなり、黒字幅が拡大した。日本からスイスへの直接投資額は3兆7,090億円となった。スイスから日本への直接投資受入額は、3,471億円の引き揚げ超過となった。

■輸出の増加で貿易黒字が拡大

2019年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比3.9%増の2,423億4,400万スイス・フラン（CHF）、輸入は1.6%増の2,051億5,000万CHF。ともに、過去最高額を更新した。貿易収支は371億9,400万CHFの黒字で、黒字幅は2018年より58億1,900万CHF拡大した。

輸出を品目別にみると、最大輸出品目である化学・医薬品（構成比47.3%）が前年比9.8%増と、大幅に伸びた。医薬品（40.3%）が10.4%増と大きく伸びたのがその要因だ。特に、米国、ドイツ、スペイン、中国、日本向けの増大が貢献した。次いで輸出額が大きい精密機械・時計・宝飾品（20.8%）は1.7%増だった。中でも、時計（9.0%）が2.5%増となった。時計の輸出先として最大の香港向けが、

政情不安定の影響で10.4%減と落ち込んだが、中国向けの16.1%増、日本向けの19.9%増などが相殺し、精密機械・時計・宝飾品全体の輸出増に寄与した。

輸出を国・地域別にみると、輸出全体の約半分を占めるEU（構成比47.4%）は2.6%増と小幅な伸びにとどまった。最大輸出相手国のドイツ（18.2%）は0.4%増と伸び悩んだ。続く米国（17.3%）は、10.7%増と好調であった。医薬品の輸出が大きく増えたことが寄与した。アジア大洋州（18.6%）は4.3%

表1 スイスの主要品目別輸出入（通関ベース）

（単位：100万CHF、%）

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年		2019年		2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
化学品・医薬品	104,372	114,575	47.3	9.8	50,159	52,705	25.7	5.1
医薬品	88,340	97,550	40.3	10.4	36,733	37,707	18.4	2.7
精密機械・時計・宝飾品	49,640	50,490	20.8	1.7	28,401	30,297	14.8	6.7
時計	21,180	21,718	9.0	2.5	4,007	3,789	1.8	△5.5
精密機械	16,806	17,010	7.0	1.2	8,233	8,436	4.1	2.5
宝飾品・貴金属製品	11,654	11,762	4.9	0.9	16,160	18,073	8.8	11.8
機械および電気・電子機器	33,520	32,064	13.2	△4.3	32,079	32,002	15.6	△0.2
産業用機械	19,929	18,299	7.6	△8.2	12,648	12,580	6.1	△0.5
電気・電子機器	11,373	11,214	4.6	△1.4	11,893	11,755	5.7	△1.2
金属製品	14,402	13,585	5.6	△5.7	15,907	14,942	7.3	△6.1
農林水産物	10,029	10,057	4.1	0.3	14,823	14,619	7.1	△1.4
食品・飲料・たばこ	8,980	9,056	3.7	0.9	10,862	10,784	5.3	△0.7
輸送用機器	5,020	5,652	2.3	12.6	19,299	19,503	9.5	1.1
繊維・衣料製品	4,863	4,984	2.1	2.5	11,662	11,975	5.8	2.7
燃料・エネルギー	2,818	2,497	1.0	△11.4	9,472	9,312	4.5	△1.7
電力	2,068	1,786	0.7	△13.7	1,789	1,387	0.7	△22.5
原油・石油製品	729	694	0.3	△4.7	6,492	6,663	3.2	2.6
合計（その他含む）	233,224	242,344	100.0	3.9	201,849	205,150	100.0	1.6

〔注〕 貴金属・宝石、芸術品、骨とう品（加工して貨幣またはその代替品として流通可能なもの）は含まない。
〔出所〕 スイス連邦財務省関税局

増と前年に続き好調を維持した。中国(5.5%)の10.0%増と日本(3.3%)の5.7%増が牽引した。一方で、香港(2.3%)は7.1%減だった。

輸入を品目別にみると、全体の4分の1のシェアを占める化学品・医薬品(構成比25.7%)が、前年比5.1%増となった。これは、主に医薬品(18.4%)や原材料(3.7%)の増加によるものだ。しかし、次いで輸出額の大きい機械および電気・電子機器(15.6%)が0.2%減とほぼ横ばい、金属製品(7.3%)が6.1%減となり、輸入全体では前年の8.7%増から1.6%増にとどまった。

輸入を国・地域別にみると、輸入全体の6割以上を占めるEU(構成比64.7%)が0.9%減となった。最大の輸入元であるドイツ(26.2%)は1.6%減、続くイタリア(9.1%)が0.1%減、フランス(7.4%)も6.8%減と、ほぼ軒並み減少したことによる。EU域外で最大の輸入元である中国(7.3%)からは、4.6%増となった。輸入額では148億9,400万CHFとなり、過去最高額を記録した。機械および電気・電子機器が6.4%増となり、中国からの輸入増の一因となった。続く米国(6.7%)も9.3%増と拡大した。輸送用機器(18.7%)の30.0%増の伸びが貢献したとみられる。このほか、宇宙・航空機器(10.3%)、自動車(8.2%)、がそれぞれ27.7%増、33.4%増と大きく伸びた。

2020年に入ると、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、第1四半期は輸出入ともに多くの品目で金額が減少した。しかし、最大の貿易品目で景気サイクルの影響を受けにくい化学品・医薬品の輸出が305億7,800万CHFと過去最高額を記録。この結果も受けて、輸出が577億6,200万CHFとなる一方、輸入は494億2,000万CHFだった。差し引きで、貿易黒字が83億4,200万CHFに拡大した。医薬品の輸出は、主にイタリアやドイツに向けて増えた。しかし、その後、各国のロックダウンの影響がさらに大きくなり、2020年4月に輸出が前月比11.7%減、輸入が21.9%減と歴史的な減少を記録した。その後、5月には輸出入がそれぞれ1.2%減、9.8%増となり、回復の兆しがみられた。

■FTA拡大の通商政策を継続

スイスはEUに加盟していないが、世界各国と個別にFTAを締結し、優位な貿易条件の維持を試みている。他方、スイスが加盟する欧州自由貿易連合(EFTA)とメルコスールの自由貿易協定(FTA)交渉は、2019年8月にブエノスアイレスで行われた会合で実質合意に至った。本協定の特徴は、幅広い工業製品の市場アクセスに加えて、スイスにとって影響の大きい牛肉などの一部農産品の市場アクセスについて、WTO加盟時の自由化義務の範囲外の譲許(関税割当)を初めて認めたことである。

表2 スイスの主要国・地域別輸出入(通関ベース)

(単位: 100万CHF、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2018年		2019年		2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	112,076	114,948	47.4	2.6	134,066	132,805	64.7	△0.9
ユーロ圏	102,400	104,815	43.3	2.4	124,499	122,802	59.9	△1.4
ドイツ	43,923	44,085	18.2	0.4	54,671	53,821	26.2	△1.6
フランス	15,212	14,312	5.9	△5.9	16,209	15,114	7.4	△6.8
イタリア	14,363	14,069	5.8	△2.0	18,767	18,748	9.1	△0.1
ベルギー	4,150	4,366	1.8	5.2	3,295	3,574	1.7	8.5
非ユーロ圏	9,676	10,133	4.2	4.7	9,567	10,002	4.9	4.6
英国	9,359	9,195	3.8	△1.7	7,742	9,427	4.6	21.8
アジア大洋州	43,177	45,049	18.6	4.3	29,467	31,428	15.3	6.7
ASEAN	7,804	8,330	3.4	6.7	6,393	7,564	3.7	18.3
中国	12,180	13,392	5.5	10.0	14,242	14,894	7.3	4.6
日本	7,643	8,080	3.3	5.7	3,395	3,356	1.6	△1.1
香港	5,944	5,524	2.3	△7.1	1,198	1,296	0.6	8.1
韓国	3,198	3,432	1.4	7.3	757	798	0.4	5.4
インド	1,728	1,705	0.7	△1.3	1,677	1,960	1.0	16.9
米国	37,939	41,989	17.3	10.7	12,563	13,737	6.7	9.3
カナダ	3,673	3,953	1.6	7.6	1,586	582	0.3	△63.3
ロシア	2,509	3,106	1.3	23.8	289	253	0.1	△12.6
ブラジル	2,617	2,512	1.0	△4.0	582	575	0.3	△1.2
メキシコ	1,449	1,436	0.6	△0.9	685	628	0.3	△8.5
合計(その他含む)	233,224	242,344	100.0	3.9	201,849	205,150	100.0	1.6

[注] アジア大洋州は、ASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港、台湾を加えた合計値。

[出所] スイス連邦財務省関税局

メルコスールに今回新たに割り当てられる牛肉の低関税輸入枠は3,000トンに達する。これについて政府は、これまで業界と十分に対話を続け、市場に混乱をもたらす場合は譲許を一時的に停止できるよう交渉したと説明している。2021年までの批准を目指している。

2018年12月に署名されたEFTAとインドネシアとのFTAについては、インドネシア産パーム油に対して最大35%の関税引き下げを盛り込んでいることが環境破壊、スイス産油の価格競争の不利益につながるとして、農業団体「ユニテール」がFTA締結に反対する国民投票を提起した。今後行われる国民投票で同FTA締結の可否が問われることになる。

EUとの制度的条約（Institutional Agreement）の交渉はこう着状態が続いている。スイスでは2020年9月に

「節度ある移民受け入れのために（制限イニシアチブ）」（国民発議）が国民投票にかけられた。これは、EUとの人の移動の自由を保証する協定の破棄を求める提案で、可決された場合、EU市場へのアクセスや制度的条約の交渉に大きな影響が生じるとして、政府や経済団体は反対票を投じるよう国民に呼びかけていたところ、否決された。条約交渉の行方が注目される。

■医薬品企業の対米投資が活発

スイス国立銀行によると、2018年の対内直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）は520億2,800万CHFの引き揚げ超過となった（2019年数値は2020年12月に発表予定）。米国税制改正における法人税制見直し等の影響を受け、米国企業はスイス子会社の内部留保を本国へ還流し、金融持株会社は319億2,600万CHFの引き揚げ超過、電子・工学・時計等分野が影響を受けた製造業は243億200万CHF引き揚げ超過となり、15年ぶりの投資引き揚げとなった。

2018年の対外直接投資は605億7,000万CHFだった（2019年数値は2020年12月に発表予定）。製造業は主に化学・プラスチック分野に牽引され134億6,300万CHFとなり、サービスは商業分野の企業買収に牽引され471億700万CHFを記録した。

スイス国立銀行の2019年の直接投資統計は2020年9月時点で未発表だが、世界銀行によると対内直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は2018年の762億2,000万ドルの引き揚げ超過から、2019年

表3 スイスのFTA発効・署名・交渉状況

(単位：%)

FTA		発効日	スイスの貿易に占める構成比(2019年)		
			往復	輸出	輸入
発効済み	EU	1973年1月	55.4	47.4	64.7
	中国	2014年7月	6.3	5.5	7.3
	日本	2009年9月	2.6	3.3	1.7
	湾岸協力会議（GCC）諸国	2014年7月	3.4	2.7	4.2
	香港	2012年10月	1.5	2.3	0.6
	シンガポール	2003年1月	1.6	2.1	1.1
	カナダ	2009年7月	1.0	1.6	0.3
	韓国	2006年9月	1.0	1.4	0.4
	トルコ	1992年4月	1.0	1.4	0.4
	メキシコ	2001年7月	0.5	0.6	0.3
	EFTA(注①)	1960年5月	0.2	0.3	0.2
	合計(注②)	—	76.2	67.8	78.4
署名済み	インドネシア	署名日 2018年12月	0.2	0.2	0.2
	エクアドル	署名日 2018年6月	0.0	0.0	0.0
交渉中	南米南部共同市場（メルコスール）(注③)	—	0.9	1.4	0.3
	ロシア・ベラルーシ・カザフスタン関税同盟	—	0.9	1.4	0.4
	インド	—	0.8	0.7	1.0
	タイ	—	0.5	0.4	0.5
	ベトナム	—	0.8	0.3	1.4
	マレーシア	—	0.3	0.3	0.3
	アルジェリア	—	0.1	0.1	0.0
	FTAカバー率（交渉中も含む）	—	80.7	72.6	82.5

[注] ①EFTA：ノルウェー、アイスランドのみ計上（リヒテンシュタインを含まない）。

②発効済みの合計値は、表に記載以外のFTA発効済みの以下の21カ国・地域も含めた合計。
イスラエル、フェロー諸島、パレスチナ、モロッコ、北マケドニア、ヨルダン、チリ、チュニジア、レバノン、南部アフリカ関税同盟（SACU：ボツワナ、レソト、ナミビア、南アフリカ共和国、エスワティニ（旧スワジランド））、エジプト、セルビア、アルバニア、コロンビア、ペルー、ウクライナ、モンテネグロ、中米諸国（パナマ、コスタリカ）、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ジョージア、フィリピン（協定締結順）。

③南米南部共同市場は、アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ。

[出所] スイス連邦経済省経済事務局「FTA一覧」。スイス連邦財務省関税局貿易統計。

は183億8,300万ドルの引き揚げ超過となった。対外直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）は2018年の384億3,200万ドルから、2019年は146億3,600万ドルに減少した。

経済誌「ハンデルツァイトウング」のM&A特集（2020年1月15日付）によると、2019年にスイス企業が関わったM&Aは件数が前年より35.2%減少して489件、取引額も34%減少して703億4,000万CHFだった。

2019年の最大の対内投資案件は、スウェーデン投資会社EQTとアブダビ投資公社ADIAの子会社が率いるコンソーシアムがネスレのスキンケア事業を10月に102億CHFで買収した案件だった。ネスレは同事業の他にも米アイスクリーム事業を売却するなど、健康やペットケア部門などの成長が見込める事業へ注力するべく事業再編戦略を計画どおりに実行している。物流大手パナルピナや再保険大手スイス・リーはそれぞれ8月と12月に同業への売却を通じてシナジー効果を狙った。

M&A以外では、製薬会社ノバルティスがアイケア医療機器事業アルコンを4月に269億CHFでスピントフした。同社は2008年にアルコンの株式25%に出資後ネスレから52%を取得、残りの株も株主から買い取り100%子会社化したが、経営資源を医薬品に集中する選択をした。

2019年の主な対外投資案件には、医薬品会社ロシュが遺伝子治療分野を強化するために米国のスパーク・セラピューティクスを12月に43億ドルで買収した案件や、ノバルティスによる7月の34億ドルの武田薬品工業の買収があった。2019年は医薬品、サービス、化学・建設・資源等の幅広い分野で投資が行われたが、2018年と同様に医薬品分野の米国への投資が目立ち、投資額全体の約6割を占めた。2020年に入っても、ノバルティスは1月に米国の同業メディシンズ・カンパニーを73億8,400万ドルで買収し、心血管疾患分野を拡充した。

■対日貿易黒字が拡大、対日直接投資は引き揚げ超過

2019年の対日貿易は、輸出が前年比5.7%増の80億8,000万CHF、輸入が1.1%減の33億5,600万CHFとなった。貿易黒字は、前年より4億7,600万CHF拡大し、47億2,400万CHFだった。

主な対日輸出品目をみると、最大品目の医薬品（構成比45.6%）が、前年比11.2%増と堅調に伸びた。

表4 スイスの業種別対内・対外直接投資（国際収支ベース、フロー）

（単位：100万CHF）

	対内直接投資		対外直接投資	
	2017年	2018年	2017年	2018年
	金額	金額	金額	金額
製造業	59,223	△24,302	△7,951	13,463
電子・工学・時計等	1,586	△20,053	2,724	△9,051
金属・機械	1,524	△945	4,378	5,350
化学・プラスチック	53,745	△972	△12,087	13,310
その他産業・建設	2,367	△2,332	△4,095	2,163
繊維・アパレル	—	—	1,128	1,690
サービス	46,405	△27,726	38,047	47,107
商業	11,681	14,964	△7,358	31,784
運輸・通信	△498	1,367	590	3,698
保険	2,765	△1,937	5,240	2,858
銀行	△771	△951	△1,740	△2,238
金融持株会社	26,168	△31,926	36,702	13,400
その他サービス	7,060	△9,243	4,613	△2,395
合計（その他含む）	105,628	△52,028	30,096	60,570

〔注〕2019年の業種別内訳は2020年9月時点で未発表。

〔出所〕スイス国立銀行

表5 スイスの国・地域別 対内・対外直接投資（国際収支ベース、フロー）

（単位：100万CHF）

	対内直接投資		対外直接投資	
	2017年	2018年	2017年	2018年
	金額	金額	金額	金額
EU	79,068	6,162	△692	61,909
ルクセンブルク	43,373	△20,589	△6,106	14,799
オーストリア	△1,107	11,003	△272	△455
ドイツ	1,344	△7,308	5,885	10,824
フランス	521	10,052	△894	9,025
オランダ	47,198	△40,945	8,514	△3,396
英国	△25,970	38,885	△15,133	11,624
イタリア	25	△1,374	582	1,174
ロシア	n.a.	n.a.	4,777	2,872
米国	△17,211	△37,170	14,513	△12,094
中南米(オフショア地域含む)	31,879	△49,943	△3,621	18,099
ブラジル	n.a.	n.a.	△258	1,216
メキシコ	n.a.	n.a.	703	1,047
アジア大洋州・アフリカ	51	2,078	8,154	△3,886
日本	△1,906	780	4,439	2,359
シンガポール	n.a.	n.a.	△1,377	2,464
中国（香港含まず）	n.a.	n.a.	3,168	2,946
インド	n.a.	n.a.	1,040	813
アラブ首長国連邦	n.a.	n.a.	△523	△3,327
合計（その他含む）	105,628	△52,028	30,096	60,570

〔注〕2019年の国・地域別内訳は2020年9月時点で未発表

〔出所〕スイス国立銀行

表6 スイスの主な対内直接投資案件 (2019年~2020年3月)

〈M&A以外〉						
業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要	
医薬品	ノバルティス	スイス	2019年4月	269億CHF	ノバルティスは、アイケア医療機器事業アルコンをスピノフシ、医療用医薬品に経営資源を集中。アルコンは、スイス証券取引所 (SIX) とニューヨーク証券取引所 (NYSE) に上場した。	
〈M&A〉						
被買収企業 (事業)		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国・地域			
食料品	ネスレ	EQT、ADIA等	スウェーデン、アブダビ	2019年10月	102億CHF	ネスレは、投資会社率いるコンソーシアムへ不採算部門であったスキンケア事業を完了。利益率向上に向けた事業再編を加速させるため、食品・飲料・ヘルスケアの中核事業に注力する。
貨物・物流	パナルピナ	DSV	デンマーク	2019年8月	47億2,600万CHF	物流大手DSVはバーゼルを拠点とする同業パナルピナの買収を完了。合併後は事業を統合し、拠点が90カ国、従業員数6万人の規模となる
再保険	リアシユア (スイス・リー子会社)	フェニックス	英国	2019年12月	32億5,000万ポンド	スイス・リーは子会社リアシユアの上場計画を市況により7月に中止し、12月に英保険大手フェニックスへ売却することで合意したと発表。事業を補完し合い地位の強化を狙う。スイス・リーおよび日本のMS&ADは合わせて28%のフェニックス株を所有することになり、フェニックス社の取締役会に参加する。
食料品	ネスレ	フロネリ	英国	2020年1月	40億ドル	ネスレは「ハーゲンダッツ」を含む米国のアイスクリーム事業を、仏投資会社PAIと2016年に設立した合弁会社フロネリへの売却を完了。フロネリは世界市場での事業拡大を狙う。
旅客機ケータリング	ゲートグループ	RRJキャピタル	香港	2019年4月	非公表	機内食のケータリング事業を世界60カ国・地域に展開するゲートグループは、2016年より中国の海航集団 (HNAグループ) 傘下となっていたが、HNAグループの本業の営業不振により、香港の投資会社RRJキャピタルへ売却されたと発表。

〔出所〕 各社発表および報道などから作成

表7 スイスの主な対外直接投資案件 (2019年~2020年3月)

〈M&A〉						
買収企業	被買収企業 (事業)			時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国籍			
ノバルティス	医薬品	メディシンス・カンパニー	米国	2020年1月	73億8,400万ドル	ノバルティスは心血管疾患に特化した米バイオ医薬品メーカー、メディシンス・カンパニーの買収を完了。コレステロール降下剤インクリシリンを取得し、心血管疾患分野のポートフォリオを拡充した。
ロシュ	医薬品	スパーク・セラピューティクス	米国	2019年12月	43億ドル	ロシュは遺伝子治療薬の研究開発に特化し、血友病や先天性眼疾患に取り組む米バイオテクノロジー企業スパーク・セラピューティクスを買収を完了。遺伝子治療分野の強化を狙う。
ピアゴゴ	チケット販売	スタブハブ	米国	2020年2月	40億5,000万ドル	チケット再販売ウェブサイト運営するピアゴゴは、同業スタブハブを買収を完了。ピアゴゴのエリック・ベイカーCEOは、スタブハブを起業した共同創業者。イーベイが2007年にスタブハブを買収する前に同社を離れ、ピアゴゴを創設した。
ノバルティス	医薬品	武田薬品	日本	2019年7月	34億ドル	ノバルティスは武田薬品のドライアイ治療薬「シードラ」事業の買収を完了。眼科用治療薬のポートフォリオを強化する。
シーカ	建材	パレックス	フランス	2019年5月	25億CHF	建材会社シーカは世界23カ国に74工場を擁するモルタル主要メーカーのパレックスを買収を完了。買収によるシナジー効果を見込み、建材市場での地位強化を狙う。

〔出所〕 各社発表および報道などから作成

次いで輸出額の大きい腕時計 (19.0%) が20.8%増加した。一方、電気・電子機器 (1.6%) は42.4%減と大きく落ち込んだ。輸入品目をみると、最大品目の医薬品 (22.7%) が20.7%増、一般機械 (10.0%) が11.8%増と伸びた。一方、宝飾品 (5.5%) が42.4%減と大きく減少。乗用車 (15.7%) も12.1%減少した。

対日貿易に関わる主な最近の動きとして、2020年7月、有機認証の相互承認の範囲に畜産物なども含めることについて、スイスと日本両国政府が合意した。それまでその範囲は、農産物に限られていた。スイス政府は、これにより両国間の有機食品の貿易促進が期待されるとしている。

財務省の国際収支統計によると、2019年の日本からスイスへの直接投資額は、卸売・小売業における3兆7,431億円の投資に牽引され、3兆7,090億円となった。日本のスイスからの直接投資受入額は、卸売・小売業における3,875億円の投資引き上げが影響し3,471億円の引き上げ超過となった。

2019年の日本企業のスイスへの投資案件はTDKグループのTDKラムダによる1月の電源製造のネクティスの買収完了、長野計器による4月の温度測定機器の開発・製造販売リユエガーの買収完了等があった。ま

た、ソフトバンクグループとサウジアラビアの公共投資基金(PIF)が主導するソフトバンク・ビジョン・ファンド(SBVF)は8月、再生可能エネルギー貯蔵の新興企業エナジー・ワールドへ1億1,000万ドルの投資を行った。

2019年のスイス企業による対日投資の最大案件はノバルティスが7月に34億ドルを投

じて武田薬品の眼科治療薬事業を買収した案件だった。金融大手UBSは6月、三井住友トラスト・ホールディングスと富裕層向け資産運用事業の資本・業務提携について合意しサービスの相互提供を開始すると発表。日本で合弁会社設立を目指す。

M&A以外の2019年の日本スイス企業間連携プロジェクトには、11月に発表されたNECとバイオテクノロジー企業バクシムとの個別化がんワクチン共同治験・投資契約の締結があった。また、パイオニアとスイス・リーによる先進運転支援技術を使用した車載機器の共同開発が10月に発表され、2020年初頭からサービスが開始された。さらに、6月に前田工織による医療機器会社メドアライアンスへの約22億円の出資と末梢動脈疾患治療薬の独占販売契約締結の発表等があった。また、武田薬品は6月、世界エイズ・結核・マラリア対策基金(グローバルファンド)の第6次増資に対して5年間で合計10億円の資金拠出を決定した。

表8 スイスの対日主要品目別輸出入(通関ベース)

(単位: 100万CHF、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2018年		2019年			2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
医薬品	3,316	3,688	45.6	11.2	医薬品	631	761	22.7	20.7
腕時計	1,268	1,532	19.0	20.8	乗用車	599	526	15.7	△12.1
宝飾品	543	576	7.1	6.1	宝飾品	322	185	5.5	△42.4
医療機器	457	445	5.5	△2.5	一般機械	300	335	10.0	11.8
一般機械	372	325	4.0	△12.4	電気・電子機器	255	241	7.2	△5.8
電気・電子機器	231	133	1.6	△42.4	化学原材料	176	195	5.8	11.1
たばこ	185	158	2.0	△14.5	光学機器	117	123	3.7	5.0
化学原材料	148	119	1.5	△20.0	建設機械	81	70	2.1	△13.2
検査・計測機器	142	134	1.7	△5.8	自動車部品	58	59	1.8	2.1
金属部品	111	101	1.3	△8.2	検査・計測機器	58	56	1.7	△4.8
飲料	110	124	1.5	12.7	医療機器	56	59	1.8	6.5
合計(その他含む)	7,643	8,080	100.0	5.7	合計(その他含む)	3,395	3,356	100.0	△1.1

[出所] スイス連邦財務省関税局

主要経済指標

	2017年	2018年	2019年
①人口：860万人（2019年）			
②面積：4万1,285km ²			
③1人当たりGDP：8万1,994米ドル（2019年）			
④実質GDP成長率（%）	1.7	2.8	1.0
⑤消費者物価上昇率（%）	0.5	0.9	0.4
⑥失業率（%）	3.2	2.5	2.3
⑦貿易収支（100万スイス・フラン）	29,322	30,497	35,919
⑧経常収支（100万スイス・フラン）	42,952	56,658	85,597
⑨外貨準備高（グロス）（100万米ドル）	767,680	744,167	804,004
⑩対外債務残高（グロス）（100万スイス・フラン）	1,827,386	1,832,410	1,883,924
⑪為替レート（1米ドルにつき、スイス・フラン、期中平均）	0.985	0.978	0.994

〔注〕 ⑦：通関ベース
 〔出所〕 ①②⑤：スイス連邦統計局、③：世界銀行、④⑥：スイス連邦経済省経済事務局、⑦：スイス連邦関税局、⑧⑩：スイス国立銀行、⑨⑪：IMF

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp